

罪人と言われても…

シリーズ～さよならキリスト教～

2024/3/3

# 教会に行きにくい理由（堀川調べ）

- 一度入ったら辞められなくなる
- なんか怖い
- 特別な人が行くところ
- 自分には関係ない
- 清く正しい人が行くところ
- 罪人呼ばわりされるのがイヤ
- 日曜日の朝は寝ていたい
- お金を取られそう
- 行く理由がない

# 日本の教会が犯してきた失敗

- 「罪」や「罪人」を強調しすぎた！
  - 「キリスト教＝罪」というイメージ
- 映画に出てくる「懺悔(ざんげ)」の影響
  - カトリック教会にある「告解(こっかい)室」
- 「罪の赦し」を教えるために「罪」について語らねばならなかった
  - 「あなたは罪人です」
- 「罪」について間違っって伝えてきてしまった！



# 「罪」をどう説明しますか？

## • 法律に違反すること

- 殺人・窃盗・覚醒剤・詐欺・・・
- もちろん「罪」だけれどそんなことをする人はほとんどいない

## • 悪い事

- 嘘をつく・悪口を言う・傷つける言葉・・・
- 誰もがやっている事。「罪」と言えるのか？

## • 宗教的なこと

- 主なる神を信じていないことや偶像礼拝
- 知らずにやっていることを責められるか？

# 宣教師はなぜ「罪」を強調したか？

- 日本人を「罪深い」民族だと思っていたから
  - 明治の宣教師たちにとって、長い間キリスト教を禁じてきた日本人は、非常に罪深い人たちだった
- 日本人の道徳がとても低く見えたから
  - 男尊女卑・行き過ぎた家父長制・飲酒による家庭崩壊・性風俗の蔓延など
- 「**救い**」を分からせるために「**罪**」を強調した
  - キリストの十字架を信じるためには、自らが「罪人」であることを分からせなければならなかった
  - 教会に入った瞬間「あなたは罪人です」と言った

# 異教の地アテネでのパウロの言葉

パウロはアテネで二人を待っている間に、この町の至るところに偶像があるのを見て憤慨した。…パウロは、アレオパゴスの真ん中に立って言った。「アテネの皆さん、あらゆる点においてあなたがたが信仰のあつい方であることを、わたしは認めます。道を歩きながら、あなたがたが拝むいろいろなものを見てみると、『知られざる神に』と刻まれている祭壇さえ見つけたからです。それで、あなたがたが知らずに拝んでいるもの、それをわたしはお知らせしましょう。世界とその中の万物とを造られた神が、その方です。この神は天地の主ですから、手で造った神殿などにはお住みになりません。

使徒17:16,22-24

# パウロの宣教

- **多神教や偶像礼拝を責めていない**
  - 偶像がたくさんあることに憤慨していたが…
  - むしろ彼らを「信仰のあつい方」とほめている
  - もちろん一言も「罪」について述べていない
- **その上で創造主について語っている**
  - 『知られざる神に』という祭壇を利用した
  - 「世界とその中の万物とを造られた神」
- **異教の地では「罪」ではなく「創造主」**
  - 「創造主」を信じなければ「罪」が分からないから
  - 「罪」は創造主との関係の問題である

# 罪の基準である「十戒」の前提

- 十戒の「前文」はこれが誰と誰との約束であるか明示している
  - 「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。」出エ20:2
- 「わたし」=〈主なる神〉と「あなた」=〈イスラエル〉との約束事である
  - 「わたし」が誰であるか分からない人にこの約束事は適応されるのか？
  - パウロはそれを分かっていたので、アテネの人々を(内心憤慨しながらも)責めなかった



# では日本人には罪はないのか？

## • 被造物を通して創造主を知ることができる

- 「世界が造られたときから、目に見えない神の性質、つまり**神の永遠の力と神性は被造物に現れており、これを通して神を知ることができます。**」

ローマ1:20

## • 心に記されている律法

- 「こういう人々は、律法の要求する事柄がその心に記されていることを示しています。彼らの良心もこれを証ししており、また心の思いも、互いに責めたり弁明し合って、同じことを示しています。」

2:15

# 福音宣教をやり直す！

## •「罪」を強調しない

- 「創造主」を知らない人たちに罪は分からない
- いたずらに「罪人」呼ばわりしない

## •まず創造主の存在を伝える

- 創造主を信じることの素晴らしさを伝える
- 創造主は生きて働かれる神である

## •創造主を見出すことはできる

- 「彼らが探し求めさえすれば、神を見いだすことができるようにということなのです。実際、神はわたしたち一人一人から遠く離れてはおられません。」

17:27